

事務事業評価表(既存事業)

コード 6-6-8	事務事業名 育児相談事業	所管部課 保健福祉部健康推進課
--------------	-----------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 子育て支援の一環として母性及び乳幼児の健康保持増進や保護者の育児への知識を深め、育児不安を解消し取り組めることを目的とする。	総合計画上の位置づけ
	実施内容、実施方法 対象：乳幼児とその保護者 内容：相談者の希望により、身体測定、個別相談、母親同士の交流 保谷会場 18回 田無会場 18回	根拠法令等 西東京市母子健康教育・相談事業等 実施要領
	事業開始時期 平成 13 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他( )

評価指標の設定	活動指標名 開催回数	活動指標の考え方(定義) 育児相談会の開催数
	成果指標名 相談者数	成果指標の考え方(定義) 育児相談会の参加者(相談者数)

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
事務事業データ	事業費(A)		3,161	3,161	3,348	3,348	
	国庫支出金	千円					
	都支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		3,161	3,161	3,348	3,348	
	所要人員(B)	人	0.30	0.30	0.30	0.30	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	2,474	2,482	2,498	2,498	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	5,635	5,643	5,846	5,846	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(相談者数)	千円	2	2	2		
	歳入	千円					
	活動指標	目標値	回			36	36
		実績値	回	36	36	36	
活動指標	目標値						
	実績値						
成果指標	目標値	人			2,800	2,800	
	実績値	人	2,462	2,782	2,718		
成果指標	目標値						
	実績値						

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	子育て中の親子が集える場として交流広場・子どもの遊び場の充実を図ってほしい。
	国・都・他市・民間等 における類似事業	他都市においても同様の事業を実施
	運営上の制約条件・ 外部要因等	1回の施設及び時間上の受け入れ人数の限界はあると考える。

コード 6-6-8	事務事業名 育児相談事業	所管部課 保健福祉部健康推進課
--------------	-----------------	--------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input checked="" type="checkbox"/> 極めて良好 <input type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	子ども家庭支援センターや保育園でも同様の事業を実施しているため相談者数は横ばいとなっているが予約なしで気軽に相談でき、定期的開催しているところから市民のニーズに応えられる体制となっている。
	必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	近年の子育てへの知識不足や子育て不安の解消の為にニーズは高まり、必要性は大である。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input type="checkbox"/> 問題なし <input checked="" type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	現在は、天候等に相談者数が左右され、毎回の人数はアンバランスになっている。充実した相談事業を行なうには人数を増やすことが目的でなく、対象者の満足度も上げなければいけない。相談者が増加していくにあたって回数を増やすことも考えていかなければならない。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	市報・ホームページ・健診時にちらしを配るなどPRはしており市民の知る機会としては公平性に問題はないと思われる。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	本事業はニーズもあり、継続の必要性はあるが今後親同士の交流しやすい空間づくりや子育てについての情報やトピックスなどを提供し待合の工夫を加えていくことで市民の待ち時間や満足度等は改善すべき点はあると考えられる。また、年齢別に分類した開催なども今後考えていきたい。

17年度における改善点	専門スタッフの不足 さらに細やかな相談の展開
-------------	---------------------------

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

- 実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など
- 必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など
- 効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など
- 公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など
- 総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。
  - 拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。
  - 継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。
  - 改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。
  - 抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。
  - 廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。